実験・実習技術研究会の報告集原稿について
～（副題）～

〇実験　太郎a)、実習　花子b)、技術　薫c)

a)□□大学 □□学部 技術部、b)□□大学 □□研究所、c)□□大学 □□センター

# １．はじめに

本研究会で発表をする方は、報告集原稿を作成して提出してください。原稿の書式について以下に記述しますので、ご協力をお願いします。なお、提出された原稿の記載内容について、本研究会では修正等を一切行いません。

ファイル名は「所属機関名\_氏名」の形式とし（例　□□大学\_実験太郎）、原稿枚数は、2ページ以内、ファイルサイズは5MB以内としてください。

パスワードなどによる制限の追加は行わないでください。

# ２．テンプレートの利用

このファイルは所定の書式で記述されており、報告集原稿のテンプレートとして使用できます。タイトル・見出し・本文などには専用のスタイルを設定しておりますので、ご利用ください。必要な場所にテキストを入力するか、別ファイルで作成したテキストをコピー&ペーストすれば、所定の書式に従った原稿が作成できます。コピー元の書式が反映されてしまう場合は、ペースト時に「形式を選択して貼り付け」を選択し、「テキスト形式」でペーストしてください。

また、このファイルは游明朝フォントを用いているためMicrosoft® Wordにおいて行間が広がり過ぎる場合があります。その際は該当段落をクリックあるいは文書全体を選択したうえで「ホーム」タブの「段落」グループ右下の矢印アイコン（段落の設定）をクリックし、表示された「段落」ダイアログボックスで「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」のチェックを外してください。

なお、Microsoft® Word以外で原稿を作成する場合は、ここで指定する書式に準拠してください。

# ３．用紙及び原稿の配置

図1　原稿の配置

用紙の大きさはA4縦を用いてください。周囲の余白は、上方：25mm、下方：25mm、左方：20mm、右方：20mmとしてください（図1）。余白には何も記入しないでください。

# ４．原稿の書き方

## ４.１　タイトル、著者、所属（各行内で改行するときは、Shift+Enterでお願いします）

タイトル：游ゴシック（太字）、14pt

氏名：游明朝、10.5pt

所属：游明朝、10pt

著者が複数の場合は、発表者の前に○を付記してください。著者の所属が異なる場合は、上付け半角アルファベットと半角右括弧を付記a)とし、所属など行を変えて書いてください。

## ４.２　章の見出し、小見出し

章の見出し、小見出しには通し番号を振ってください。フォントは10.5ptの游ゴシック（太字）

をお使いください。

## ４.３　本文

本文は1段組とし、所属の記述の下から本文を記述して下さい。フォントは10.5ptの游明朝を基準として使用し、必要に応じて游ゴシック（太字）を使用してください。

原稿は電子データによる公開を予定していますので、Acrobat PDFに変換可能なフォントをご使用ください。また、図表の中で使用するフォントについても同様にお願いします。

## ４.４　文献の引用

文献は通し番号とし[1]、上付きのカギ括弧を使用してください[2]。

## ４.５　図表の挿入

図表の挿入は、例（図1、表1）に倣ってください。図表には通し番号を振り、図1、表1のように表記してください。図のキャプションは図の下部に、表のキャプションは表の上部に10ptの游ゴシック（太字）フォントを用いて記入してください。

## ４.６　ページ番号

ページ番号は入れないでください。編集担当者が通し番号を割り振る場合があります。

|  |
| --- |
| 表1　表の書式（例） |
| **項目** | **項目** | **項目** | **項目** |
| **a** | **1** | **10** | **1** |
| **b** | **2** | **20** | **2** |
| **c** | **3** | **30** | **3** |

# ５．原稿の提出

原稿は、WordファイルとPDFファイル（フォントの埋め込みを行ってWordファイルから変換したPDFファイル）を、締切日までに送付してください。提出するファイルは、文字化け等の無いことを事前にご確認ください。提出期限を過ぎてから提出された原稿は本研究会で公開されませんので、ご注意ください。

参考文献

1. 参考文献は、参考文献番号を表示してください。
2. 参考文献は、9ptで記述ください。

謝辞

謝辞はここに記述してください。